

しん りよく

審力



今回は審力（物事をつまびらかにする力）です。「つまびらかにする」とは、詳しく明らかにする、細かくひも解くという意味です。本校で行われている学習では、児童に何を考えさせ、児童がどのように身体を動かし、児童がどのように行動すればよいかを先生方がしっかりと考えて臨むようにしています。新体力テストに向けた反復横跳びの練習では、どのように体を動かせばよいか、線をどのように越えさせるのがよりよいのかを児童に考えさせて練習をしました。また、わくわくのたねもどのようなやり取りで花咲かせるところまでいくのか詳しく伝え、児童の意欲付けを行いました。道徳の授業では、丁寧な指導をすることにより、児童は何について考え、自分の思いをどのように表現すればよいのか、授業中の態度はどのような姿がふさわしいのかなど自ら考えながら学びを進めていました。

5/22 体育朝会～反復横跳び＆わくわくのたね紹介～



線を越えないように気を付けて



低学年もやり方を学んでいます



コツをつかんできました



中村先生からのお話です



わくわくのたねが見事花咲きました



みんなもたねを植えましょう！

体育朝会では、反復横跳びの仕方について久保先生が説明し、他の先生方も効率よく身体を動かすポイントを随時児童に伝えていました。ただ単に「やってみましょう」ではなく、「線を越えるときには足をこのようにして…」など事細かくアドバイスをすることで、児童は各々の力をしっかりと出し切る新体力テストに繋がっていくのだと思いました。わくわくのたねも誰かが花咲かせることで、次のわくわくのたね（自分のやってみたいこと）を植えたいという気持ちが育つのだと思いました。

5/26 3・4年生の道徳の授業から見てきたこと

今年度、本校は道徳科を研究教科としています。

今年度の研究テーマは「わくわくして学びに向かうことのできる子供の育成～思いやりの心・自律心を高める Do talk 教育」です。「Do talk 教育」聞きなれないですよ。東野小学校が作った造語です。「Do talk」を「道徳」にかけて、「しっかりと話す道徳教育」を研究していくことにしました。

研究主任をしている中村先生は、道徳の授業を「見に来てください」とよく公開していただきます。5月26日（月）の3時間目に3・4年生の道徳の授業を拝見しました。下の写真のように学習規律や授業の進め方など様々な工夫や声掛けを見ることができました。このように先生方が工夫しながら授業を児童と創っていくことを積み重ねることで先生も児童もまだまだ伸びていくと感じました。中村先生の授業から、先生も児童も「Do talk」するために続けていくといいなと思うことが見えてきました。①話すときはアイコンタクトする、②発表する人の方を向いて聞く、③発言するために自分の考えをしっかりと持つ、④友達の意見に対して質問したり感想を伝えたりする、⑤友達の意見を自分の考えに反映して自分の考えをより深める、⑥深めた自分の考えをみんなにつなぐということです。これらは児童同士だけでなく、職員同士、職員と児童でも続けていきたいと思います。これから、教職員で研究を重ね、「Do talk」させるために必要なことをつまびらかにしていきたいです。ご家庭でもお子様としっかりと会話していただけると嬉しいです。



アイコンタクトで考えを聞きます



迷っている児童には個別指導をします



発表するときはしっかりと手を挙げます



発表する人の方を向いて聞きます



自分の考えをワークシートに書き込みます



考えがまとまったら集中して書きます



友達の意見も反映して自分の考えを深めます



深めた自分の考えをみんなにつなぎます



発表が全員に繋がりました